

私の宝物 …

家族の絆が詰まった重箱

私の宝物は、家族とともに正月を祝ってきた重箱です。

これは、毎年家族で新年を祝っていきこうと、新婚当初に夫と買い求めたものです。それから約40年、家族が増え、食べる人に合わせて中身のおせちは変わっていききましたが、正月にはいつも家族の中心にこの重箱がありました。

4年前に夫が先立ってしまったとき、この重箱の出番はもうないのかなと思いました。しかし、そんな時息子から「正月に重箱がないと親父が寂しがるよ」と言われ、この重箱には家族の絆も詰まっていることに気づきました。夫と二人だけで始めた正月祝いも、今では息子夫婦や孫たちが集まり、私のこの重箱の隣には近くに住む嫁の手作りのおせちも並んで、にぎやかさを増しています。



菊地代志子さん
(北入曾在住)



たくさんの思い出が詰まった重箱に感謝！そしてこれからもずっとよろしく。

今回は、下奥富にお住まいの方を紹介します。

1年1年思い出を重ねて



前列左から市村幹事長、関口副会長、廣岡会長、加藤副会長、高橋地区連合会長、末村顧問、後列左から半貫地区連合会長、土田地区連合会長、天野地区連合会長

平成26年度の役員が決まりました。自治会連合会は、「輪」になって地域とともに住みよい「狭山」をスローガンに、各自治会や地区自治会連合会、狭山市と連携を密にし、自治会相互の交流を深め、地域づくりを推進します。

一年間、よろしくお願いします。(敬称略)

市連合会役員／会長 廣岡忠男 副会長 関口武男 副会長 加藤利男 幹事長 市村剛 顧問 末村仁

各地区連合会長／入間川市村剛 入曾関口武男 堀兼天野一男 奥富加藤利男 柏原半貫 敏夫 水富廣岡忠男 新狭山高橋和昌 狭山台土田博

くらしの自治会 狭山市自治会連合会

仲間たち Vol.393

狭山の民話を広めるプロジェクト



「狭山に残る民話を語り、地域の人や子ども達に郷土愛を持ってほしい」。そんな思いでスタートしたのが、このプロジェクトです。

狭山市文化団体連合会(以下「文団連」)の事業の一つとして、平成22年7月に発足しました。

以来、民話の舞台となった史跡などを訪れ、文団連の会員を対象に読み聞かせを行うこと3年。昨年11月には、初めて参加者を公募して「広瀬民話めぐりウオーキング」を開催しました。今後も、古より伝わる狭山の民話や歌を広めながら、冊子やCDの制作にも取り組んでいきたいと思っています。

興味が沸いてきた皆さん、一緒に活動しませんか。また、10月25日(土)には「奥富民話めぐり」を計画しています。みんな、来てくらしえ！

問合せ小川豊子さんへ ☎2954-0213

文化財60年のあゆみ ③

「狭山市文化財保護条例」の制定

昭和32年4月1日、市内の文化財を保護し、文化の振興に貢献することを目的として「狭山市文化財保護条例」を制定しました。

制定当時、市内には「七曲井」や「さほりの壺」など、6点の埼玉県指定文化財がありました。また、貴重な文化財が埋もれている可能性があると、広報紙「狭山市政だより」(当時)で市民に情報提供を呼びかけました。

条例施行後、これまでに「広福寺山門」「八幡神社本殿」「旗本小笠原家墓所」など、47の文化財が狭山市指定文化財に指定されています。



●狭山市指定文化財
天岑寺惣門(左の写真)・白鬚神社韋駄天の額・慈眼寺阿弥陀如来像・今宿遺跡・梅宮神社鰐口・清水濱臣の墓・羽黒神社菩提樹など

情報ガイド

- 市政 ● 暮らす ● 学ぶ・楽しむ
- 教育・子育て・キッズ ● 募集
- 官公庁など



- 主に市からのお知らせを掲載します
- 「定員」は原則として先着順、「場所」の掲載がない催しは問合せ場所が会場、「費用」の掲載がないものは無料です
- 公式ホームページにはさらに多くの情報があり、公民館などに設置してある公共施設予約端末でもご覧いただけます

公式ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/>
 公式モバイルサイト <http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/>
 市役所の所在地 〒350-1380 狭山市入間川1-23-5



ありがとうございました

温かい寄附をいただきました。厚くお礼を申し上げます。
 ▼ てづくりチャリティーさまーけつから児童福祉のため2万1千800円
 ▼ 平成25年度祇園保育所卒園生ご一同から災害支援のため3千385円

▼ 狭山ライオンズクラブから狭山市駅西口駅前広場に狭山市観光案内看板1基

地域福祉活動環境整備事業費補助金を交付

市民の皆さんによって設立された福祉関係団体などが行う活動に対して、3年間を限



度に補助金を交付します。ぜひ、活用ください。

対象申請日から起算して過去1年以内に、市民が主体となって設立したNPO団体や任意団体(類似する公的補助金の交付を受けている団体を除く) 対象事業 ▼ 地域住民の支え合いにより、福祉サービスを提供する事業 ▼ 地域福祉の担い手を養成する事業

▼ 地域福祉課題を解決するための先進的な事業 補助金額 年20万円を限度(最長3年)

申請期限 6月30日(月) ※7月15日(火)、地域福祉推進会議でのプレゼンテーションで採否を決定 申込み申請書(福祉課に用意)を同課へ内線1010

緑の募金運動を実施中 6月30日まで

この運動は、公益社団法人埼玉県緑化推進委員会が行っている家庭募金です。集まった募金は、県内の学校や公園などの身近な緑化事業に充てられるほか、市内の公園や緑地の保全などに役立てていきます。皆さんのご協力をお願いします。

問合せみどり公園課へ内線2241

市長随想 105

日枝神社と狭山茶

東京赤坂の山王日枝神社の境内には、「やぶきた」の茶園があります。5月初めに巫女が摘んだ若芽を狭山市内の工場に運んで製茶し、6月8日の日曜日、神前や皇居に奉納されました。この行事は、40年も前から狭山市茶業協会が協力して行っているもので、八十八夜に摘まれたお茶は縁起物として珍重され、献茶する茶娘は、その年必ず良縁に恵まれるとの逸話さえあります。

私も30代のころ、小型トラックに作業道具、肥料、茶苗を積んで早朝に出発し、東京のど真ん中に地下足袋

姿で境内に茶園を作りましたが、この時のことは、今も忘れられない思い出となっています。また、当時の茶工場は、自園自製で加工、火入れまで行い、都内に縁のある小売店で販売していたので、狭山茶の知名度も高く、都内のあちこちで「味の狭山茶」の旗を見かけました。

近年、地産地消が普及して市内需要が高まっており、6次産業の草分けでもある狭山茶に大変大きな期待が寄せられています。今年の新茶もでき上がりました。皆さんもコクとうまみのある「味の狭山茶」をぜひ堪能してください。



狭山市長 仲川 伸一
 似顔絵・花倉正喜氏

市長の主な動き

- 5/1…情報公開及び個人情報保護審査会委員委嘱状交付式
- 5/8・21…定例庁議
- 5/9…県西部地域まちづくり協議会定例総会
- 5/12…埼玉県市長会正副会長会議、市町村長会議
- 5/13…廃棄物減量等推進審議会
- 5/14…全国市長会関東支部総会
- 5/15…建築審査会
- 5/16…埼玉西部消防組合議会第1回臨時会・正副管理者会議
- 5/20…狭山市駅加佐志線供用開始に伴う信号機灯入式、白寿訪問
- 5/22…川越総合卸売市場梱取締役会
- 5/25…地域防犯推進委員委嘱式